

一般財団法人エンジニアリング協会  
地下開発利用研究センター〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19  
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201

ホームページアドレス: <http://www.ena.or.jp/GEC/>E-mail アドレス: [gec-adm@ena.or.jp](mailto:gec-adm@ena.or.jp)

## 第 346 号/2018.7

## Index

- 平成 30 年度 第 1 回 研究企画委員会開催報告
- 平成 30 年度 地下利用推進部会の発足
- 平成 31 年度 調査研究活動に関する技術課題・  
テーマの公募
- 平成 30 年度 第 1 回 日帰り見学会 開催報告  
～ ハッ場ダム ～
- 会員の皆様へのお知らせ  
・国内見学会のお知らせ(予告)

## ■平成 30 年度 第 1 回 研究企画委員会開催報告■

平成 30 年度 第 1 回 研究企画委員会(委員長: 高田悦久様 鹿島建設(株)、副委員長: 太田誠様 大成建設(株))が 6 月 20 日(水)に開催されました。

上田事務局長の協会挨拶、高田委員長の挨拶、各委員の自己紹介の後、高田委員長の司会により議事が進められました。なお、委員交代により、平成 30 年度から新たに JFE エンジニアリング(株)の辻 英明様に委員をお願いしました。

議題と議事内容の概要は、以下のとおりで、審議事項についてはいずれも承認されました。

1. 平成 29 年度事業報告(案)及び決算報告(案)について(審議)
  - (1) 平成 29 年度事業内容
  - (2) 平成 29 年度事業報告書(案)
  - (3) 平成 29 年度決算報告(案)
2. 平成 30 年度事業の進捗について(報告)
  - (1) 平成 30 年度補助事業
    - 1) 地下情報の基盤モデルづくりに関する調査
  - (2) 平成 30 年度受託事業
    - 1) 経済産業省補助事業「壱岐市における水素・再生可能エネルギー導入ビジョン策定事業」(壱岐市)
    - 2) 地熱開発関係・IoT-AI 適用による小規模

地熱スマート発電&熱供給の研究開発  
(NEDO に提案中)

- 3) 地熱開発関係・環境省「地域低炭素化案件形成支援事業への専門家派遣」(地熱関係)

## (3) 平成 30 年度自主事業

- 1) 研究企画ワーキンググループ
- 2) 研究会
  - ① 放射性廃棄物研究会
  - ② 地熱発電・熱水活用研究会
  - ③ 計測技術研究会
  - ④ 水素輸送・貯蔵研究会
  - ⑤ エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会
- 3) 地下利用推進部会(快適なインフラ・まちづくりに資する地下空間利用に関する調査研究)
  - ① 第 1 部会 地下歩行空間を利用した快適なまちづくりに関する調査研究
  - ② 第 2 部会 離島における電力エネルギーの強靱化および快適性向上に関する調査研究
  - ③ 第 3 部会 快適な社会に向けた水インフラ利用に関する調査研究
  - ④ 第 4 部会 新たな付加価値を創造する

- 交通インフラ整備に関する調査研究
- 4) 地下情報化部会
  - 5) 国内見学会、日帰り見学会
  - 6) 成果発表会

3. 平成 30 年度 JKA 補助事業委託業務公募結果報告（報告）

4. 平成 31 年度エンジニアリングに関する調査研究＜提案公募＞の予定について（報告）
5. その他（研究成果発表会 2018 プログラムの紹介他）

次回の第 2 回研究企画委員会は 9 月 6 日(木)に開催する予定です。

## ■平成 30 年度 地下利用推進部会の発足■

地下センターの主要な活動の柱の一つである地下利用推進部会は、平成 6 年度に発足し、2 年ごとに更新して活動を実施してきました。

平成 30 年度は、「快適なインフラ・まちづくりに資する地下空間利用に関する調査研究」（自主事業）を全体テーマに、賛助会員企業に以下の 4 部会へ参加公募を実施したところ、29 社 41 名の応募がありました。

応募者全員を委員として 4 部会を編成し、部会ごとに部会長・副部会長を委員の互選により選任

し、本年 5 月末に活動を開始しました。

また、各部会の部会長・副部会長をメンバーとする地下利用推進部会幹事会を設け、各部会の調整、連絡、検討の深化と取りまとめを行います。

本調査研究では、快適なインフラ・まちづくりに資する地下空間利用を、「歩行空間」・「エネルギー」・「水インフラ」・「交通インフラ整備」の 4 テーマを各部会で調査し、その取りまとめと次年度以降の推進部会の調査研究テーマの方策に関する提言を行うことを目指します。

（敬称略）

| 平成 30 年度 地下利用推進部会<br>ー快適なインフラ・まちづくりに資する<br>地下空間利用に関する調査研究ー |                                   |                                        | 幹事会<br>幹事長： 征矢雅宏<br>副幹事長： 西村 毅 |
|------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------|
| 部 会 名                                                      | 調 査 内 容                           | 部 会 長                                  |                                |
| 第 1 部会<br>(7 社 7 名)                                        | 地下歩行空間を利用した快適なまちづくりに関する調査研究       | 部 会 長：西村 毅（株安藤・間）<br>副部会長：大村 猛（川崎地質株）  |                                |
| 第 2 部会<br>(11 社 11 名)                                      | 離島における電力エネルギーの強靱化および快適性向上に関する調査研究 | 部 会 長：中山 洋（佐藤工業株）<br>副部会長：大森剛志（東電設計株）  |                                |
| 第 3 部会<br>(13 社 13 名)                                      | 快適な社会に向けた水インフラ利用に関する調査研究          | 部 会 長：平野孝行（西松建設株）<br>副部会長：稲葉 薫（株竹中工務店） |                                |
| 第 4 部会<br>(10 社 10 名)                                      | 新たな付加価値を創造する交通インフラ整備に関する調査研究      | 部 会 長：征矢雅宏（清水建設株）<br>副部会長：山田岳峰（鹿島建設株）  |                                |

## ■平成 31 年度 調査研究活動に関する技術課題・テーマの公募■

地下センターでは、公共的かつ先導的・共通基盤的な課題等について幅広く産・学・官の英知を結集して、プラントや機械システム等の新技術に関する調査研究を行い、今日的な社会的諸問題の解決、将来の望ましい社会システムの構築等に資

することを目的としております。

平成 31 年度予算要望に当たり、研究テーマを募集しておりますので、お知らせいたします。

提案されたテーマの審査は、地下センターの研究企画委員会において、提案企業匿名で審査を行

います。

また、テーマの実施方法は、委託先を平成 31 年 4 月中旬以降に公募によって決定します。

決定された委託先は、当センターと共同して調査研究を実施するものと致します。

調査研究に係る技術課題・テーマの類型は、公共性が高く先導的で単独企業のみでは取り組み得ない共通基盤的な社会開発システム等に対して、企業の知恵を結集し新しい技術や新しい技術利用展開、システムの調査・研究を行うものです。

テーマは技術課題、特性、調査研究手法、調査研究規模等により以下のように分類しています。

#### ① A型テーマ

〔補助事業での 1 テーマ事業予算：約 1,000 万円／年、期間：1～2 年〕

新技術・新システムなど、主に概念設計・基本設計や必要に応じて基礎実験等を行うものです。

地上・地下の組合せ、あるいは使い分けを含むシステム、コンセプト、エンジニアリングなどの調査研究要素を有するものを対象とします。

地上・地下空間に係るエネルギー合理化、新エネルギーの普及、循環型社会の形成、環境対策、都市の再生、産業の活性化、情報化の進展、バイオ技術の進展、新たな産業の創出発展、雇用の創出などの重要政策に沿うものを対象とします。提案テーマ及び内容が具体的で、調査研究の成果が将来、国内外の普及に結びつき、技術的・社会的に貢献できるテーマを特に期待しています。

#### ② B型テーマ

〔補助事業での 1 テーマ事業予算：約 500 万円／年、期間：1～2 年〕

国内・海外の具体的な地域特性に着目した社会開発プロジェクト等に関し、エンジニアリング技術を結集して地域開発等の構想策定や事業性検討、フィージビリティスタディ等の調査を行うものとします。

#### < 望ましい技術課題・テーマ >

- ① 共通基盤的な技術に係るもの（特定企業や個別業種の枠を超えた横断的な分野など）
- ② 広く産・学・官及び異業種交流等により検討されるもの（委員会等を設置して多方面の意見を取り入れるなど）
- ③ 調査研究の成果が将来における官民のプロジェクトに結びつく可能性の高いもの

\*\*\*\*\* 締め切り等 \*\*\*\*\*

(1) 提出期限 平成 30 年 8 月 3 日（金）  
（17:00 必着）

(2) 提案書本文は、A4 版 3～4 枚程度にまとめて下さい。また、別途、概念図等を添付して下さい。提案書ファイル（MS-Word 形式）を E-mail でご提出いただき、提出された提案書の内容について当協会事務局にてヒアリングを実施させていただきます。

(3) 問い合わせ・提出先：

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19  
一般財団法人エンジニアリング協会  
地下開発利用研究センター  
管理部長 今津 雅紀 宛  
E-mail : imazu.masanori@enaa.or.jp  
TEL : 03-5405-7203

\* 詳細につきましては、

地下開発利用研究センターホームページ

<https://www.enaa.or.jp/gec>

「※お知らせ」をご参照ください。

## ■平成 30 年度 第 1 回 日帰り見学会 開催報告 ～ ハッ場ダム ～■

平成 30 年度 第 1 回 日帰り見学会を 5 月 30 日（水）に開催しました。見学場所は、国土交通省関東地方整備局が建設中のハッ場ダム建設工事現場で、参加者は総勢 23 名でした。

ダムの概要は以下ようになります。

・重力式コンクリートダム、堤高：116m、堤頂長：290.8m、堤体積：約 100 万 m<sup>3</sup>、総貯水容量：1 億 750 万 m<sup>3</sup>

- ・建設地点：群馬県吾妻郡長野原町（利根川水系吾妻川）
- ・洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道及び工業用水の新たな確保並びに発電を目的とする多目的ダム。工期（完成予定年度）は平成31年度、建設に要する費用の概算額は約5,320億円を予定。

最初にダム完成後の貯水池の左右岸を結ぶ不動大橋を見学した後、“なるほど！やんば資料館”にてハッ場ダム工事事務所の遠藤副所長にダム建設の経緯や周辺地域の概要を説明していただきました。

次に、ダム本体右岸の展望台まで移動し、ダム現場右岸側の展望台からRCD工法でコンクリート打設中のダム全景を俯瞰しながら施工の詳細を原総括施工管理官に説明していただきました。

その後、下流側に移動してダム全景を遠望し（写真参照）、廃線になったJR吾妻線の線路上を徒歩で移動してバスで大柏木トンネル（工事用道路）を通り、約10km離れたコンクリート骨材製造プラントに移動しました。ここで製造されたコンクリート骨材はベルトコンベヤでダム左岸側に建設されたコンクリートバッチャープラントまで輸送されています。

お二人の案内者の方には、参加者からの様々な質問に対して丁寧にわかりやすくご説明いただき、参加者にとって大変有益な見学会になりました。

見学会に際しご協力をいただきました国土交通省 関東地方整備局 ハッ場ダム工事事務所、ならびに関係者の方へ、この紙面をお借りして御礼申し上げます。なお、ハッ場ダムでは一般の方の見学も歓迎しております。日本一のインフラ観光ツアー・ハッ場ダム観光プロジェクト“やんばツアーズ2018”が平成30年4月から開始されていますので、詳細は下記URLを参照願います。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yanba\\_00000076.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yanba_00000076.html)



写真：参加者一同

## ■ 会員の皆様へのお知らせ ■

### □ 国内見学会のお知らせ(予告)

地下センターでは、地下利用施設の見学会を毎年実施しております。

平成30年度は、平成28年4月に発生した熊本地震からの復旧・復興が進んでいる熊本県としました。見学会の日程と概要が決まりましたので予告案内いたします。

詳細が決まりましたら会員各社の連絡窓口担当者にご案内いたしますので是非ご参加下さい。

#### 1. 期 日：

平成30年9月20日(木)～9月21日(金)  
(1泊2日)

#### 2. 行 程：

|        |                                                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------|
| 20日(木) | 10：15 熊本空港 集合 ⇒ ①熊本県庁防災企画室 説明会 ⇒ 昼食 ⇒ ②熊本城の復旧状況 見学 ⇒ 宿泊先               |
| 21日(金) | 宿泊先 ⇒ ③わいた地熱発電所 見学 ⇒ ④阿蘇大橋周辺復旧工事、二重峠トンネル、大切畑ダム 見学<br>16：45 頃 熊本空港で順次解散 |

#### 3. 定 員：24名

#### 4. 問い合わせ先：地下開発利用研究センター 塩崎、中村

TEL：03-5405-7203

E-mail: [hiromi@enaa.or.jp](mailto:hiromi@enaa.or.jp)